



「さっぽろっ子環境ウィーク」における SDGsアクション

宣言

身近なところから「より良い札幌」を目指して

SDGs アクション

・空ケースの再資源化による環境保全

「アイシティ eco プロジェクト」に協力し、コンタクトレンズの空ケースを回収する活動を昨年度に引き続き行いました。

昨年度から各学級に回収用の小さなボトルを、生徒会室前に大きな回収ボックスを設置して空ケースを回収しています。

・SDGsをもとにした「より良い札幌」づくり

3学年の総合的な学習の時間で、札幌市の予算をもとに、札幌のまちをより良くする SDGs 政策を検討し、10月の総合成果発表会に向けて、グループで協力・分担して情報を集め、ポスターやスライドを作成しました。

SDGs についての理解を深めるとともに、「さっぽろのおさいふ」講演会で得た情報をもとにして、札幌のまちで実現可能であると考えられるプランをグループで検討しました。発表会に向けて、より説得力のあるプレゼンテーションとなるよう、何度も練習して発表内容を工夫してきました。

成果

空ケース回収活動では、昨年度は 70%のごみ袋約 2 袋分のコンタクトレンズケースを回収することができました。今年度は回収方法などをまとめた啓発ポスターを広く掲示したことで活動が広まり、多くの生徒が協力するようになり、昨年度の約 2 倍の、70%のごみ袋 4 袋分もの量が集まりました。

10月に行った総合成果発表会では、他学年や保護者の方の前で自分たちが考えた SDGs 政策を発表しました。工夫を凝らしたプレゼンテーションが多く見られ、「より良い札幌」づくりのために、自分たちができること、していかなくてはならないことを、学校全体で共有することができました。

次年度の取組に向けて

空ケース回収は今後も継続して行い、さらなる定着を図るため、家庭や地域の方にも協力してもらえよう取組へと発展させていきます。また、回収活動をきっかけに環境問題への意識を高めていけるものにしていきます。

総合的な学習の時間での活動は今後も継続し、「より良い札幌」を考える場としてさらに充実したものを目指します。

これらの活動をもとに、今後環境に対してさらに意識を高め、主体的に実践していけるよう、様々な取組を検討していきます。

